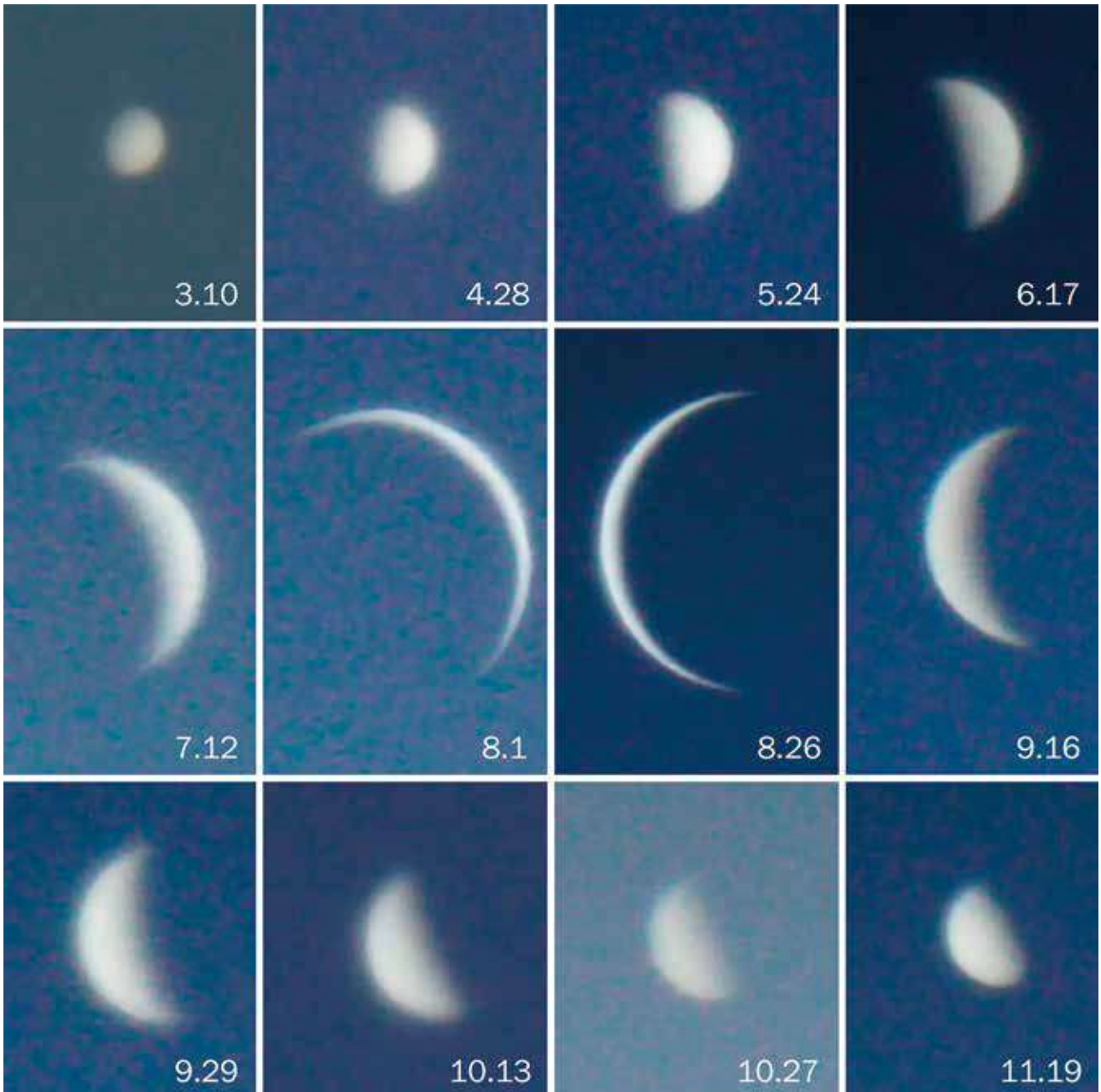




特集：2024年の天文現象



2024年の天文現象 特集

1月

- 1日 元日(明石の初日の出は 07:07)
- 4日 しぶんぎ座流星群が極大
- 6日 小寒
- 9日 月と金星・水星が並ぶ(明け方)
- 12日 水星が西方最大離角
- 14日 月と土星が並ぶ
- 18日 月と木星が並ぶ
- 20日 大寒

2月

- 4日 立春
- 8日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 15日 月と木星が並ぶ
- 19日 雨水
- 29日 土星が合

3月

- 5日 啓蟄
- 8日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 14日 月と木星が並ぶ
- 17日 海王星が合
- 20日 春分
- 25日 水星が東方最大離角

4月

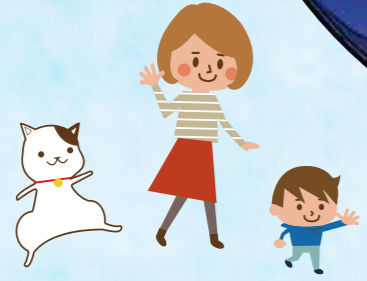
- 4日 清明
- 9日 北米で皆既日食(日本では見られない)
- 10日 月と木星が並ぶ
- 19日 穀雨
- 22日 こと座流星群が極大

5月

- 4日 月と土星が並ぶ(明け方)
- 5日 立夏
- 6日 月と水星が並ぶ(明け方)
- 6日 みずがめ座η(エータ)流星群が極大
- 10日 水星が西方最大離角
- 13日 天王星が合
- 19日 木星が合
- 20日 小満

6月

- 1日 月と土星が並ぶ
- 3日 月と火星が並ぶ(明け方)
- 5日 芒種
- 5日 金星が外合
- 21日 夏至
- 27日 月と土星が並ぶ



2024年
2月中旬
午後8時ごろ
の星空



2024年
8月上旬
午後9時ごろ
の星空



2024年
5月上旬
午後9時ごろ
の星空



2024年
11月上旬
午後9時ごろ
の星空

7月

- 2日 月と火星が並ぶ(明け方)
- 3日 月と木星が並ぶ(明け方)
- 6日 小暑
- 9日 大暑
- 22日 水星が東方最大離角
- 22日 月と土星が並ぶ
- 24日 月と火星・木星が並ぶ(明け方)
- 31日 みずがめ座δ(デルタ)南流星群が極大

8月

- 6日 月と金星が並ぶ
- 7日 立秋
- 10日 旧暦七夕
- 12日 ベルセウス座流星群が極大
- 14日 火星と木星が並ぶ
- 20日 月と土星が並ぶ
- 21日 月と土星が並ぶ
- 22日 処暑
- 27日 月と火星・木星が並ぶ

9月

- 1日 月と水星が並ぶ(明け方)
- 5日 水星が西方最大離角
- 5日 月と金星が並ぶ
- 7日 白露
- 8日 土星が衝
- 17日 中秋の名月
- 17日 月と土星が並ぶ
- 18日 カナダ・ヨーロッパなどで部分月食(日本では見られない)
- 21日 海王星が衝
- 22日 秋分
- 23日 月と木星が並ぶ
- 24日 月と火星・木星が並ぶ
- 25日 月と火星が並ぶ

10月

- 3日 南太平洋・南米南部で金環日食(日本では見られない)
- 5日 月と金星が並ぶ
- 8日 寒露
- 8日 リゅう座(10月)流星群(ジャコビニ流星群)が極大
- 14日 月と土星が並ぶ
- 17日 2024年最大の満月
- 21日 月と木星が並ぶ
- 21日 オリオン座流星群が極大
- 23日 霜降
- 23日 月と火星が並ぶ

11月

- 2日 おうし座南流星群が極大
- 5日 月と金星が並ぶ
- 7日 立冬
- 11日 月と土星が並ぶ
- 12日 おうし座北流星群が極大
- 16日 水星が東方最大離角
- 17日 月と木星が並ぶ
- 17日 天王星が衝
- 17日 しし座流星群が極大
- 20日 月と火星が並ぶ
- 22日 小雪

12月

- 5日 月と金星が並ぶ
- 7日 大雪
- 8日 土星食(潜入開始 18:21 潜入終了 18:24 出現開始 18:42 出現終了 18:44)
- 8日 木星が衝
- 14日 ふたご座流星群が極大
- 14日 月と木星が並ぶ
- 18日 月と火星が並ぶ
- 17日 冬至
- 25日 水星が西方最大離角
- 29日 月と水星が並ぶ(明け方)

天文みごろ カレンダー

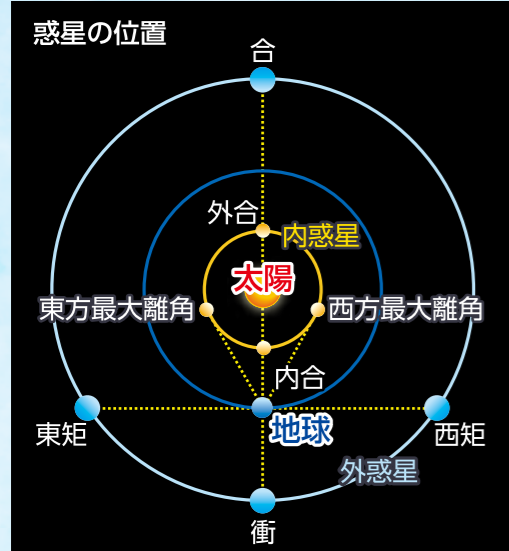
2024年の夜空のみごろを表にしています。
表をもとに、夜空を観察してみましょう。

表の見方

- 月の暦
- 月がこの状態になる日
 - 月の見え方
 - この状態のよび方
- 望(満月) ● 下弦 ● 朔(新月)
- 上弦

惑星(水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星)

惑星の見え方は、太陽と惑星と地球の位置関係によって決まります。地球から見て太陽と同じ方向に惑星があるときを「合(ごう)」といい、合にある惑星は見えません。また、地球から見て太陽と反対側に惑星があるときを「衝(しょう)」といい、衝にある惑星は一晩中見えます。



- 衝 ……真夜中に南中、観測好機
 - ◆ 西矩 ……日出時に南中。明け方の東空に見える
 - ◆ 東矩 ……日入時に南中。夕方の西空に見える
 - 西方最大離角 ……明け方の東空に見える
 - 東方最大離角 ……夕方の西空に見える
 - ✕ 合・内合・外合 ……太陽の方向にあり観測できない
- いて座 ……カレンダー上の星座名は、その時期に惑星が位置するところにある星座です。たとえば、金星は2月上旬頃、いて座のあたりに見えます。

- 流星群
- ★ ……流星群極大日
 - ……流星時期
- 日食・月食
- ☉ ……天体がかくされる現象
- ※記号上の日付は、それぞれの現象がおこる日です。

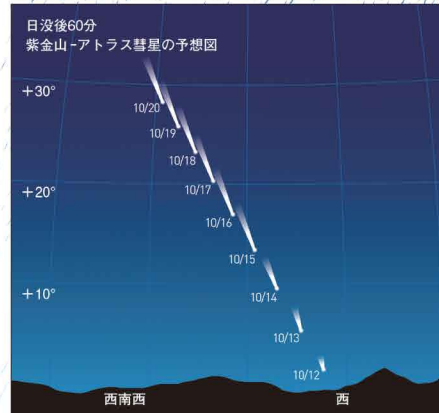
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
月の暦	4 11 18 26 下弦 朔 上弦 望	3 10 17 24 下弦 朔 上弦 望	4 10 17 25 下弦 朔 上弦 望	2 9 16 24 下弦 朔 上弦 望	1 8 15 23 31 下弦 朔 上弦 望 下弦	6 14 22 29 朔 上弦 望 下弦	6 14 21 28 朔 上弦 望 下弦	4 13 20 26 朔 上弦 望 下弦	3 11 18 25 朔 上弦 望 下弦	3 11 17 24 朔 上弦 望 下弦	1 9 16 23 朔 上弦 望 下弦	1 9 15 23 31 朔 上弦 望 下弦 朔	
水星	西方最大離角 12日 明け方東の空に見える	外合 28日	東方最大離角 25日 夕方西の空に見える	内合 12日	西方最大離角 10日 明け方東の空に見える	外合 15日	東方最大離角 22日 夕方西の空に見える	内合 19日	西方最大離角 5日 明け方東の空に見える	外合 1日	東方最大離角 16日 夕方西の空に見える	内合 6日	西方最大離角 25日 明け方東の空に見える
金星	さそり座 へびつかい座 いて座		やぎ座	外合 5日			しし座 おとめ座 てんびん座 さそり座 へびつかい座 いて座 やぎ座						
	明け方に見える						夕方に見える						
火星	うお座 おひつじ座 おうし座 ふたご座												
	西矩 14日 明け方に見える												
木星	東矩 27日 夕方に見える		おひつじ座		合 19日			おうし座		西矩 12日 明け方に見える		おうし座	
										衝 8日 一晩中見える		おうし座	
土星	みずがめ座		合 29日		みずがめ座			西矩 9日 明け方に見える		みずがめ座		みずがめ座	
								衝 8日 一晩中見える		東矩 5日 夕方に見える		8日 土星食	
天王星	東矩 8日 夕方に見える		おひつじ座		合 13日			おうし座		西矩 20日 明け方に見える		おうし座	
										衝 17日		おうし座	
海王星	うお座		合 17日		うお座			西矩 21日 明け方に見える		うお座		衝 21日	
										うお座		東矩 18日 夕方に見える	
流星群	<p>極大★ 4日 しぶんぎ座流星群</p> <p>極大★ 22日 こと座流星群</p> <p>極大★ 6日 みずがめ座流星群</p> <p>極大★ 12日 ベルセウス座流星群</p> <p>極大★ 31日 みずがめ座南流星群</p> <p>極大★ 8日 りゅう座(10月)流星群</p> <p>極大★ 2日 おうし座南流星群</p> <p>極大★ 12日 おうし座北流星群</p> <p>極大★ 21日 オリオン座流星群</p> <p>極大★ 17日 しし座流星群</p> <p>極大★ 14日 ふたご座流星群</p>												
その他	<p>日本では見えない ☹️</p> <p>皆既日食 北アメリカなど ☹️</p> <p>ボン・ブルックス彗星 9日 ★ 詳しくは6ページ</p> <p>日本では見えない ☹️</p> <p>部分月食 カナダ、ヨーロッパなど ☹️</p> <p>日本では見えない ☹️</p> <p>金環日食 南太平洋、南米南部など ☹️</p> <p>紫金山・アトラス彗星 3日 ★ 詳しくは6ページ</p> <p>毎年多数出現しますが、2024年は夜半以降月明かりがあるため条件はよくありません。 ☹️</p> <p>毎年多数出現しますが、2024年は上弦の月明かりがありますが、月没後は好条件です! 😊</p> <p>毎年多数出現しますが、2024年は月明かりがあるため条件はよくありません。 ☹️</p>												

2024年 注目の天文現象

彗星

彗星は、太陽の周りを回る天体のひとつです。氷とチリのかたまりのような天体で、太陽に近づくと氷が溶けだすことなどで長い尾を引く姿を見られることがあります。

2024年は、71年周期の「ポン・ブルックス彗星」が回帰し、4月頃に明るくなると予想されています。また、10月頃には、2023年1月に新しく見つかった「紫金山・アトラス彗星」が接近し、明るくなる予想となっています。いずれも、双眼鏡で観察できるかもしれません。



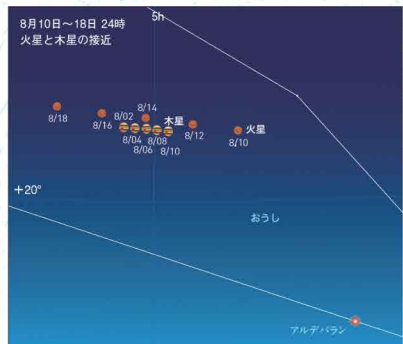
©天体観測手帳2024

惑星

火星と木星の接近 8月14日

木星(-2.0等)と火星(0.8等)が8月14日に最も接近します。この頃は、真夜中すぎに東の空から昇ってきて、夜明け前まで観察できます。

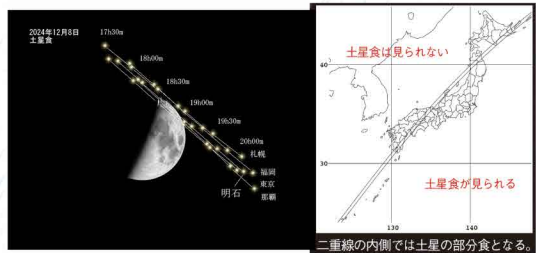
それぞれの周期で太陽の周りを回る惑星たちは、その年によってみごろの時期が違います。4～5ページにはそれぞれの惑星が見える時期と、2～3ページには月と惑星が並ぶ日を掲載しています。



©天体観測手帳2024

土星食 12月8日

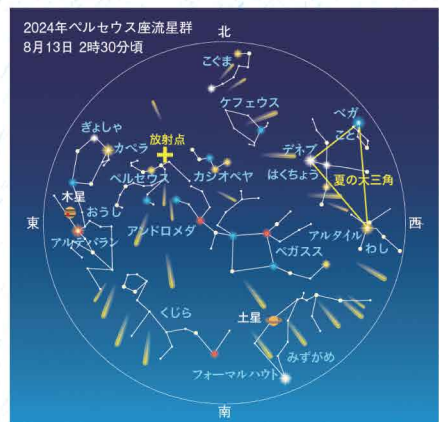
沖縄から東北北部で、土星が月の後ろに隠れる「土星食」が起こります。(明石での見え方：潜入開始 18:21 潜入終了 18:24 出現開始 18:42 出現終了 18:44)



©天体観測手帳2024

流星群 ペルセウス座流星群 8月12日

流星群は、毎年決まった頃にたくさんの流れ星が見られる天文現象です。流星群のもとになっているのは、彗星などが宇宙にまき散らしたチリです。チリが地球の大気にぶつかることで、明るく輝く流れ星になって見えます。毎年多くの流星が出現する三大流星群のうち、2024年は1月のしぶんぎ座流星群と12月のふたご座流星群は月明かりがあり、条件は良くありません。8月のペルセウス座流星群は月が沈む夜半前から夜明け前が好条件です。極大は8月12日23時頃と予想されています。



©天体観測手帳2024

流星群は、放射点を中心に広がるように流星が現れます。しかし、空のどこに現れるかはわかりません。なるべく広く空を見渡せる場所で、気長にのんびりと流星を探すのがいいでしょう。



「プラネタリウム体操」

プラネタリウム 100周年を記念して、プラネタリウムの動きをもとに、体操を作ったんだ。その名も「プラネタリウム体操」みんなもやってみよう！



●日周運動

円を描くように、体を大きく左にまわす。

ぐるーりぐるーり



最初は手は腰に！



●年周運動



手のこぶしを左に大きく動かした後、右に引く。これを2回続けよう。

右手でこぶしを作り、左手は腰にあてる。



最後に手の甲をつけて、指先を開いて「23.4度」を作る

●歳差運動



立っている人はクルクル回ってください。



座っている人は背筋を伸ばし、両手を腰にあて、左右に体をひねる。

●緯度変化



背筋は伸ばしたままで、頭を腰まで下げる。



おじぎ～おじぎ～



高校生によるプラネタリウム投影

8月26日(土)・27日(日)

県下の高校生がプラネタリウム投影について学び、一般の来館者に四季の星空を案内する特別投影が実施されました。

高校生たちは天文科学館のプラネタリウムを見学し、解説についての講義を受けたあと、8つのグループに分かれて投影内容を作成しました。



シゴセンジャーファンクラブイベント

8月26日(土)

去年に続き、会員限定のシゴセンジャーファンクラブイベントを開催しました。いつものシゴセンジャー場所とは異なり、開始早々にレッドとブルーが登場！



講演会「もう道に迷わない？ ～宇宙から場所と時を知らせる技術～」

8月27日(日)

特別展「日本の宇宙開発の歴史～JAXA20年のあゆみ～展」の関連講演会では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)高精度測位システムプロジェクトチーム研究開発員の村上 滋希さんにお越しいただきました。



お月見ナイトミュージアム

9月23日(土)

2023年度のお月見ナイトミュージアムは、プラネタリウム100周年記念事業公認企画として、井上館長による「人と宇宙とプラネタリウムー100年の大発展ー」と題した講演会、二胡奏者・李亜輝さんをお迎えしてのプラネタリウムコンサート、そして観月会の3部構成で開催しました。



中秋の名月

9月29日(金)

旧暦8月15日の月を中秋の名月といい、お月見をする風習があります。この伝統行事にあわせて、天文科学館では二つのイベントを行いました。

一つは、明石公園で行った「観月会」です。天文科学館から望遠鏡を運び、公園を訪れた方に月や明るい惑星を楽しんでいただきました。

もう一つは、16階観測室から大型望遠鏡を使った「中秋の名月ライブ配信」です。月がゆっくりと昇ってくる様子などをYouTubeで中継しました。

今年の中秋の名月は満月と重なっていました。天候に恵まれ、どちらのイベントでも明るく美しい名月を眺めることができました。



明石公園の観月会のようなす

プラネタリウム100周年イベント

10月21日(土)

プラネタリウム100周年のオープニングである10月21日の夜に、日本全国のプラネタリウム館をZoomでつなぎ、当館の井上館長やコスモプラネタリウム渋谷の永田美絵さんの司会のもと、宇宙飛行士の山崎直子さんをゲストに迎え、「全国一斉プラネタリウム100周年記念イベント」が開催されました。

また、10月21日(土)・22日(日)には、日中のプラネタリウムでも100年前の星空をご案内しました。



夏休み 児童生徒作品展 入賞者によるプレゼン発表会

10月22日(日)

毎年当館で夏休み明けに約1か月間、「夏休み児童生徒作品展」を開催しています。当館に展示される中学生の作品は、市内各校で校内審査を突破したわずか5点程度です。



ハロウィンナイトミュージアム

10月29日(日)

天文科学館では、ハロウィンイベントを開催しました。お昼間には、特定の時間になるとハロウィン仕様にした館内に陽気なBGMが流れはじめ、衣装した職員が出発しました。



〈広告〉

Advertisement for Kowa Binoculars, featuring YF II series and SV II series models with detailed specifications and pricing.

〈広告〉

Advertisement for Nagasawa Stationery, featuring astronomical observation equipment like globes and telescopes, and stationery items like pens and notebooks.

プラネタリウム一般投影 解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったおはなしをわかりやすく紹介します。

●2024年の天文現象

1月5日(金)~1月31日(水)

2024年には流星群や彗星、惑星たちの共演など、楽しい天文現象がたくさんあります。4月には北米などで皆既日食も見られます。2024年に注目の天文現象についてお話しします。



2019年の皆既日食(チリ)

●太陽の活動とオーロラ

2月1日(木)~2月29日(木)

太陽は11年周期で活動が活発になったり静穏になったりしています。太陽活動が活発になると太陽黒点が増えたり、太陽フレアがたくさん出たり、オーロラがよく見られたりもします。オーロラは、太陽からやってくる太陽風が地球大気に入ってくることで発生します。太陽活動とオーロラについてご紹介します。



●北極星の今昔

3月1日(金)~3月31日(日)

人々に大切にされてきた北極星。北極星を見つけると、北の方角がわかることで、東西南北の全ての方位を知ることができます。そんな便利な北極星ですが、実は天の北極と少しずれているのが写真で確認することができます。また、私たちは今、こぐま座α星を北極星として認識していますが、北極星は時代とともに別の星へと変化してきたようです。3月は「北極星の今昔」についてお話しします。



★キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日と学校長期休業中(1/5~1/8、3/23~4/7)の第2回目と第4回目の投影に実施します。

●オリオンとふゆのせいざ

1月5日(金)~2月25日(日)

冬の星空には、明るい星がリボンの形で並ぶオリオン座がかがやきます!オリオン座から冬のせいざを探してみましょう。



*1月6日(土)~8日(月・祝)の11時10分~は「軌道星隊シゴセンジャー(事前申込制)」のキッズプラネタリウムになります。

●はるのほしぞらめぐり

3月2日(土)~4月14日(日)

春の星空は見どころがいっぱい!みんなで星空をめぐってみましょう。



*3月23日(土)・24日(日)の11時10分~は「軌道星隊シゴセンジャー(事前申込制)」のキッズプラネタリウムになります。

🍷こども天文教室

下記の日程の9:50~のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。



- ・1月27日(土) 「これからの天文現象」
- ・2月24日(土) 「星の一生」
- ・3月16日(土) 「南十字をたずねて」

🍼ベビープラネタリウム

乳幼児(0~4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

事前申込

- 日程:
- ・1月19日(金)・26日(金)
- ・2月3日(土)・16日(金)
- ・3月2日(土)・15日(金)

10時~ 投影時間約30分

詳しくは当館ホームページをご覧ください。



🌠星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

事前申込

- 日程:
- ・1月20日(土)13時10分~
- ・3月9日(土)13時10分~

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

🌠特別展

●2024年全国カレンダー展

12月9日(土)~1月28日(日)

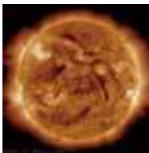
全国の企業や公共施設、動物園などが発行する新年カレンダーを展示します。



●太陽系のお天気展

2月3日(土)~4月7日(日)

太陽系には8個の惑星があり、その環境はそれぞれ異なります。それぞれの惑星のお天気を比べてみます。また、太陽の活動と関係の深い宇宙天気についても紹介します。



Courtesy of NASA/SDO and the AIA, EVE, and HMI science teams.

😊その他のイベント

●お正月開館についてのお知らせ

天文科学館はお正月から開館します!

- 開催期間:1月1日(月)~1月3日(水)
- 開館時間:11時~15時(最終入館は14時30分)
- 入館料:500円(高校生以下無料)

*1月1日(月)~1月3日(水)は、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

●福袋、宇宙食などの販売あり

新春プラネタリウム

その日の空は、どんな星空が見えるのでしょうか。冬の星や星座をご紹介します。

当日整理券制

●投影開始時刻

- ①11時30分~
- ②12時50分~(キッズプラネタリウム)
- ③14時10分~

投影時間約40分



●軌道星隊シゴセンジャー

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!

事前申込

- 冬場所
- ・1月6日(土)~1月8日(月・祝)11:10~
- 春場所
- ・3月23日(土)・24日(日)11:10~

詳しくは当館ホームページをご確認ください。



Event Calendar

1月	2月	3月
<p>🌠 1月5日(金)~1月31日(水)</p> <p>「2024年の天文現象」</p>	<p>🌠 2月1日(木)~2月29日(木)</p> <p>「太陽の活動とオーロラ」</p>	<p>🌠 3月1日(金)~3月31日(日)</p> <p>「北極星の今昔」</p>
<p>★ 1月5日(金)~2月25日(日)</p> <p>「オリオンとふゆのせいざ」</p>		<p>★ 3月2日(土)~4月14日(日)</p> <p>「はるのほしぞらめぐり」</p>
<p>🌠 12月9日(土)~1月28日(日)</p> <p>「2024年全国カレンダー展」</p>	<p>🌠 2月3日(土)~4月7日(日)</p> <p>「太陽系のお天気展」</p>	
<p>🌠 1月1日(月)~1月3日(水)</p> <p>11:00~15:00</p> <p>「お正月開館(新春プラネタリウム)」</p>	<p>🌠 1月20日(土)</p> <p>13時10分~</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 3月2日(土)</p> <p>【事前申込】</p>
<p>🌠 1月19日(金)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 1月27日(土)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 2月3日(土)</p> <p>【事前申込】</p>
<p>🌠 1月27日(土)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 2月16日(金)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 2月16日(金)</p> <p>【事前申込】</p>
<p>🌠 1月6日(土)~1月8日(月・祝)</p> <p>11:10~</p> <p>「軌道星隊シゴセンジャー冬場所」【事前申込】</p>	<p>🌠 1月26日(金)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 2月10日(土)</p> <p>【事前申込】</p>
	<p>🌠 2月3日(土)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 2月16日(金)</p> <p>【事前申込】</p>
	<p>🌠 2月24日(土)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 3月15日(金)</p> <p>【事前申込】</p>
	<p>🌠 3月2日(土)</p> <p>【事前申込】</p>	<p>🌠 3月9日(土)</p> <p>13時10分~</p> <p>【事前申込】</p>
	<p>🌠 1月18日(木)</p> <p>【空き状況により申込可】</p>	<p>🌠 2月15日(木)</p> <p>【空き状況により申込可】</p>
	<p>🌠 3月14日(木)</p> <p>【空き状況により申込可】</p>	<p>🌠 3月30日(土)</p> <p>【空き状況により申込可】</p>
略号	🌠 プラネタリウム一般投影	★ キッズプラネタリウム
	🌠 特別展	🍷 こども天文教室
	🎵 季節イベント	👁️ 観望会
	🎵 ナイトミュージアム	🍼 ベビープラネタリウム
	🌠 星と音楽のプラネタリウム	🌠 シルバー天文大学

休館日のお知らせ

1	2	3
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6	1 2 3	1 2
7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	3 4 5 6 7 8 9
14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	10 11 12 13 14 15 16
21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	17 18 19 20 21 22 23
28 29 30 31	25 26 27 28 29	24 25 26 27 28 29 30

※1月9日(火)~15日(月)まで休館いたします。

天体観望会の実施日・申し込みについて

- ◆実施日時・申込方法の詳細についてはホームページをご覧ください
- ◆参加費 1人 300円
- ◆駐車場ご利用の場合は別途200円必要です



Information ご利用案内

■プラネタリウム投影開始時刻

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 <small>団体予約がある時のみ</small>	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝 及び 学校長期休業中	9:50	11:10 <small>キッズ プラネタリウム</small>	13:10	14:30 <small>キッズ プラネタリウム</small>	15:50

■休館日

毎週月曜日・第2火曜日 ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日となる日は開館し、翌日が休館となります。※臨時開館・休館あり
年末(2023年12月27日(水)～31日(日))・年始2024年1月4日(木)

■年始の営業日時

1月1日(月)～1月3日(水)午前11時～午後3時(最終入館は午後2時30分まで)
※1月1日(月)～1月3日(水)は、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

■開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

■観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。
※高齢者割引、障害者割引を行っています。
※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。
※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

■駐車場

普通自動車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごとに100円)／大型バス(8台):1回1,500円

■施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。

■交通のご案内



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

[https://www.am12.jp/X\(旧Twitter\)@jstm135e](https://www.am12.jp/X(旧Twitter)@jstm135e)

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiwase-tenmon@city.akashi.lg.jp



時間、それは宇宙からの贈りもの

上空2万kmの彼方のGPS衛星で刻まれる10万年に1秒の高精度。
宇宙とつながり、時を知る。衛星電波クロック「セイコー スペースリンク」シリーズ。

SEIKO

お問い合わせ先: セイコータイムクリエーション株式会社 クロックお客様相談室 0120-315-474 (9:30～17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.seiko-stc.co.jp/>

